

新発田市子ども読書活動推進計画 概要版

基本方針

(1)子どもの発達段階に応じた読書活動の推進

0歳から18歳に至るまで、発達段階に応じて読書活動を行うことは、非常に重要です。年齢段階が進むにつれて、子どもの「活字離れ」、「読書離れ」が進む傾向があることから、子どもが生涯にわたる読書習慣を身に付けることができるよう乳幼児期から発達段階に応じた読書活動を推進します。

(2)子どもの読書活動推進に向けた環境の整備

家庭、地域、学校、市立図書館等においては、子どもが自主的に読書活動のできる機会や情報の提供、本を身近に感じ、読書に親しめる環境づくりに努めます。

また、子どもの読書活動には、本を楽しむ機会を作ってくれる人や支援する人が必須です。読み聞かせをする保護者や保育園、幼稚園、認定こども園の先生、学校図書館、市立図書館などで本の楽しさを伝える司書やボランティアなどの存在は欠かせません。

なお、電子図書館や電子書籍の購入など、時代に応じた読書環境の整備に努めていく必要があるため、今後も情報収集や調査・研究を行います。

(3)子どもの読書活動を推進する広報・啓発活動の推進

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、子どもの読書活動の意義や重要性について、理解と関心を深めることが重要であることから、様々な機会を通して広報・啓発活動を推進します。

子どもの発達段階に応じた取組

1 乳幼児への取組 (おおむね5歳まで)

- ①家庭での読み聞かせ
- ②家読（うちどく）の推進
- ③本のある環境づくり
- ④保護者への働きかけ
- ⑤ブックスタート事業の推進
- ⑥保育園、幼稚園、認定こども園、市立図書館などの図書環境の充実
- ⑦読み聞かせやおはなし会の実施

2 小学生世代への取組 (おおむね6歳から12歳まで)

- ①家読（うちどく）の推進
- ②読み聞かせの実施
- ③朝読（朝読書）の実施
- ④学校図書館の環境整備
- ⑤夏休み等長期休業日の学校図書館開放
- ⑥市立図書館との連携
- ⑦市立図書館資料の整備・充実
- ⑧子どもや保護者を対象とした事業の実施
- ⑨市立図書館の図書資料を活用した調べ学習等への支援事業
- ⑩情報発信
- ⑪市立図書館への見学の受入

3 中学生世代への取組 (おおむね13歳から15歳まで)

- ①家庭での読書の推進
- ②朝読（朝読書）の実施
- ③学校図書館の環境整備
- ④図書委員会活動の推進
- ⑤夏休み等長期休業日の学校図書館開放
- ⑥市立図書館との連携
- ⑦市立図書館の資料の充実、環境整備
- ⑧市立図書館の図書資料を活用した調べ学習等への支援事業
- ⑨情報発信
- ⑩市立図書館への職場体験の受入

4 高校生世代への取組 (おおむね16歳から18歳まで)

- ①高校生世代向け資料の充実
- ②市立図書館への来館機会の増加
- ③高校生世代を意識した情報発信
- ④読書への関心を高める取組
- ⑤高等学校との連携

5 支援を必要とする子どもへの取組

- ①資料の充実
- ②諸条件の整備・充実
- ③職員の資質向上
- ④市立図書館との連携

